

## 第2次明石市水産業振興計画の策定と今後の施策展開について

### 1 主旨

播磨灘の栄養塩類不足による漁獲量の減少など、本市の水産業の現状の課題や問題点を踏まえた上で、水産業振興や豊かな海づくりに関連する施策を重点的かつ計画的に推進するため、この度その基本指針となる「第2次水産業振興計画」の策定を行いました。

### 2 計画の基本政策・施策展開・事業内容について

第2次水産業振興計画は、「豊かな海を守り育む持続可能な水産業」を基本理念とし、7つの水産政策に沿って16の基本施策を設けています。また、その基本施策を実現するため、27の事業を設定しています。（別紙参照）

### 3 今後の主な施策展開について

第2次明石市水産業振興計画に沿って、下記のとおり各種施策を実施してまいります。

#### 【令和6年度の主な事業内容案】

#### （1）豊かな海づくりと持続化可能な漁業

策定委員会の中で最優先課題であると議論された栄養塩類不足による漁場生産力の低下に対応するため、漁業関係者をはじめ、県、他部署などの関係者と連携しながら、環境改善に資する下水道管理運転や施肥などの取り組みを、より一層推進します。

#### （2）林崎漁港の管理適正化

県下でも漁業の最重要拠点の1つとなっている本市が管理する林崎漁港において、プレジャーボート対策や漁業施設用地の利用調整など、管理の適正化を図ります。

#### （3）こどもたちと一緒に豊かな海づくり

明石の豊かな海やさかなを守り育てていくため、園児による稚魚放流や小学生による産卵用タコツボの絵付け体験など、明石のこどもたちと一緒に豊かな海づくりを推進します。

#### （4）魚食普及の取り組み

兵庫県漁連と連携しながら、小中学生を対象に明石産の魚介類を用いた調理実習を継続して実施します。

#### （5）漁業経営の基盤強化

本市の基幹漁業となっている「のり養殖業」において、国県と連携し、施設整備を支援することで生産者の経営の安定化を図ります。

#### （6）海洋ゴミの処分

海洋ゴミによる生態系への悪影響、漁業活動の支障などが懸念されている中、漁業者と連携し、タコの疑似餌の回収を継続して実施します。